伊勢市廃棄物減量等推進審議会（平成30年度第1回）審議結果等

* 日時：平成30年8月31日（金）15：00～
* 場所：伊勢市役所本館4階4-1会議室
* 出欠：
	+ 委員：別紙のとおり
	+ 事務局

環境生活部長（坂本）、環境生活部参事（出口）、清掃課副参事（谷口）清掃課ごみゼロ推進係長（井村）、ごみゼロ推進係主事（東條）

* 審議結果等

事項書に記載の報告及び審議事項に関する事務局からの説明に対し、以下のとおり質疑応答及び審議が行われた。なお、単なる資料解釈に対する説明は省略してい

●会長・副会長選出

　委員からの立候補が無ければ事務局の提案でお願いしたいとのことについて、

異議無しとのことから会長・副会長については前回年度同様に、「会長：委員1（皇學館大学教授）」「副会長：委員2（三重大学教授）」委員の選出となり、全会一致で承認された。

|  |
| --- |
| ●審議事項に対して（○平成29年度ごみ排出量実績について） |
| （事務局） | 平成29年度のごみ排出量実績は、平成28年度に比べて全体520ｔの削減となっており、内訳としては家庭系のごみの排出量が926ｔ減少していて事業系ごみは582ｔで、全体としては、53,375ｔで全体的には1％下がっている。人口的なところでも1％下がっているが、世帯数としては0.2％増えている。平成29年度の特徴としては、昨年度は台風21号による災害ごみの発生が挙げられるが、それは別の数字で報告する。また、今年度についても、例年に引き続き市が集めた資源回収量は減少し、市民の方の集団回収量も同様に減少し、1日あたりのごみ排出量も減っている。資料1-2は平成30年度からスタートする新しい基本計画のベースとなる数字で、燃えるごみは3年連続で減少しているが、事業系の燃えるごみについては増加している。資源ごみの紙類が減っている要因は、新聞店による回収やスーパーでの店頭回収などで、（データについては市内のスーパーから資料提供してもらった）市内の量販店での資源回収量の傾向については、衣類は増えているが古紙類は減少していたり、缶類、ペットボトルなどについては増加している。 |
| （委員1） | 報告事項について、ご質問はありますか？全体としては減っているが、事業系はちょっと増えている。 |
| （委員2） | 収集人口のところで、平成29年度の見通しと実績では2,000人近く減っている。実績ベースで見ると、平成24年度から平成29年度はだいたい1,000人強くらいで推移している。平成30年度以降で見ると、見通しで1,000人前後くらいでなされているが、平成29年・30年度の見通しでも1,600人くらい増減する。このままの実績で増えていくと、今後ずれていく可能性が。さっきの話だと、あまりに乖離があるようだと見直すということだったが、見通しで計算されたときに、この値が見通しの中央値で、ある程度の誤差を含んだ時にどのくらいの幅で、というのはある程度見越して計算されているということで良いか？あまりに誤差を含めた想定の範囲から超えてきた時に、もう一回見直すとかそのような理解で良い？ |
| （事務局） | 市で策定した人口ビジョンの数字で、最初の時点から乖離は解った上で計画をスタートさせてしまったというところがあった。 |
| （委員2） | 実際に平成28年度のこの辺は、見通しと実績と比べてそんなに差はなかったということでよいか？ |
| （委員1） | 話は変わりますが、人口は減少しているのに世帯はずいぶん増えているんですね。 |
| （委員3） | 地域的に小俣がどんどん増えて、私たちの町が減っている。 |
| （事務局） | 核家族が増えているので、世帯数が増えて人口が減っている。 |
| （委員4） | 私も小俣に住んでいますし、今増えているが、結果的にはまた核家族になれば同じ現象になる。 |
| （○平成30年度ごみ排出状況について） |
| （事務局） | 燃えるごみについて7月までの数字だが、130ｔ近く減少している。実際減っているのは許可業者が減少しているが、公用ごみ、事業者、一般は増えている。庁舎改修に伴って出たごみも入っているのではないか。資源ごみは紙類も全体的に減少している中で、今年の施策で報告するが、雑誌・雑がみ類が7月現在のトータルで18ｔ、昨年に比べて増えている。啓発効果があったのではないか。過去5年くらいで雑誌・雑がみ類の売り払いの量を比較したが、4ヶ月連続で上がるのは初めてで、これも効果があったといってよい。平成30年度も粗大ごみ、ガラス・くずびん類、陶磁器類は少し増えている。 |
| （委員1） | 雑がみ類は啓発効果が出ているのではないか。何かご質問は？公用ごみの中で一番増えているのは、庁舎のごみ。 |
| （事務局） | 公用ごみの内訳としては、1ｔ1台という計算だが、約6,000ｔあり、うち8割くらいが草ごみである。 |
| （事務局） | 道路の法面や公園等の市有地を刈った草は、清掃工場へ搬入している。本来だと青々したもの、時期が重なるので、持って行くと炉を低下させたり工場に非常に迷惑をかける。できるだけ発注した業者には、1日・2日と乾かして、水分飛ばして持ってくるようには言っているが、場所によっては風で飛んで近隣に迷惑をかけたりなどがある。皆さんご存知とは思うが、カラカラに乾かすと重量的に半分以下になり、清掃工場も焼却効率が良い。草は資源化ができればいいなと考えている。 |
| （委員1） | その他ございますか？ |
| （委員4） | 雑がみはもうちょっと知ってもらったほうがいいと思ったことがあったが、最近は「これが『雑がみ』かな」という認識が市民の中でちょっとずつ出てきている。今までまとめてごみの中に入れていたものが、分けるようになってきた。まちづくり協議会でのPRは？ |
| （委員5） | 今、常任委員会等でPRをしている最中だが、自治会単位で取り組んでいく。すでに取り組んでいただいた自治会さんもあるが。 |
| （委員4） | この数字（雑がみ紙回収率）が上がっているということは（雑がみの）認知度が上がっているということ。 |
| （○ごみ処理基本計画の策定について） |
| （事務局） | 現在、パブコメを含めて製本化しており、10月までには完成予定で委員さんには発送する。 |
| （○平成30年度取組み施策について） |
| （事務局） | 【食品ロス削減に関する取り組み】認証制度、3010運動については商工会議所さんと続いて協議させていただく。モデル事業という格好で賛同を得られた事業所さんで、他市を参考にいくつか作った（簡易スタンドPOP）。昨年度の指摘の中で「伊勢らしさ」ということで「食に感謝」という言葉を入れた。県・廃棄物リサイクル課とも連携して、市内の量販店とも取り組んでいただく。「冷蔵庫一掃DAY」は家庭の冷蔵庫の使いきり、食べきりについてだが、具体的には未定。食品ロスの先進地である自治体（静岡県、横浜市、江戸川区戸越銀座）に視察に行ったが、横浜市は800店舗近く協力店がある。アドバイスとしては、スタートは小盛りメニューなど実際にやっている店舗に声をかけるほうがが早い、地区をある程度絞ったほうがやりやすいとのこと。スタンドPOPを導入している自治体は2つ意見があり、シンプルなデザインは置いてもらいやすいが、可愛いキャラクターがあると、高級店等でそぐわないと店舗によって置いてもらえない。POPデザインは一般的なものか、選択してもらうか検討する。静岡県は登録制度ではなくキャンペーン実施などハードルは低めであり、それも手法のひとつ。今後の予定は枠組み作りの強化と、スーパーさん含めて実施していただけそうな団体さんなど、審議会の下に食品ロスの検討会を作るのもひとつと考えている。【雑がみリサイクルに関する取り組み】自治会への説明会では175の自治会中52自治会で開催しており、現在も調整中。市役所庁内の啓発は5月に副市長通知で全職員に資源化・分別徹底に関して周知済み。庁内インフォメーションでも「MOTTAINAI通信」で啓発している。その他の取り組みとして、市のHP上では簡易の雑がみ袋の作り方をアップしており、分別のお願いをしている。今後の予定は自治会さんへの説明会は今年の12月には一巡したい。事業者さんについても分別指導の必要がある。【参加・体験型出前授業】昨年度から保育園等で引き続き実施。伊勢広域環境組合さんと連携で施設見学会も実施した。今後の予定は「かもしかのごみバスターズ」の着ぐるみが来年1月頃に完成予定で、着ぐるみを使った啓発をしていく。【草・剪定枝のリサイクル】公用ごみで草が多い中、管理部門と調整しながら、清掃工場には草を入れずに別のリサイクルができないか調整を行う。【ぐりんくん制度の拡充】現在も継続中。今後は10月の環境フェアで、家具等を希望者に譲渡し、再利用していただく。【紙おむつのリサイクル化調査】鹿児島県志布志市に視察予定。その他として、①広報いせで「MOTTAINAI～3R+リスペクト～をもう一度！！」ということでシリーズ化しており、反響は大きく嬉しく思っている。②かもしかのごみバスターズのマグネットを作成して、パッカー車に貼って啓発している。③外国語版ごみ分別ガイドブックの作成・送付。④宇治山田商業高校の情報処理科生徒が作成したごみ分別アプリ「5374.ｊｐ」の改良し、ごみ出しゲームを作成中。 |
| （委員3） | 外国語版ガイドブックで、伊勢の外国人の現状は？ |
| （事務局） | 傾向としては、中国人が仕事の関係で多い。ポルトガル圏は横ばい。タイやフィリピンなど東南アジア系の方もいるが、そこまで対応するほどの方は、今は伊勢にいらっしゃらないので、主に英語版があれば。 |
| （委員3） | 北浜地区はベトナムが多いようだが。 |
| （事務局） | 「やさしい日本語」版も作っているので、日本語を勉強された方に対応できるようにはしている。他言語については、今後は状況を見ていく。 |
| （委員5） | 食品ロスについて、今、問題になっているストローもチェーン店が進めているので、不要なものはスーパーなども置かないなど、環境に配慮したことに取り組んでいるということで、店舗の価値観が上がる。発泡スチロールのトレイも紙製になるのではないか。 |
| （委員3） | プラスチック製容器包装のポイ捨てされたごみが外城田川の下流、有滝の辺りは湾曲しているので、海岸寄りの辺りでとても溜まっている。 |
| （委員1） | それは市として、時々取るということはできないのか？ |
| （事務局） | 河川の氾濫の支障になれば、浚渫や草刈り等行う。 |
| （委員4） | スーパーの買い物は発砲スチロールや過剰包装ばかり。業者さんには考えていただきたい。 |
| （事務局） | スーパーさんにお邪魔した際に、ばら売りや包装のことを担当の方には話をさせていただいた。今後も強く申し上げていきたい。 |
| （委員1） | テレビで放送していたが、食品ロスになったものを小分けにして、インターネットで売って成功していると。 |
| （事務局） | マイクロプラスチックの話があったが、河川の環境保全の観点で清掃課と環境課で連携しながら取り組んでいきたい。委員4さんがおっしゃられたが、今までは3Rでリサイクルという流れであったが、現在リサイクルは一番最後で、発生抑制が重要。 |
| （委員6） | 婦人会さんは、フードバンクは関係ないのですか？ |
| （事務局） | 食品ロスの関係でフードバンクもあるが、ルートやラインを作らなくてはいけない。仕入れたときにどこで預かってもらうか等、行き先を決めた中で動くという形。社協が一部しているが、賞味期限の規制もある。 |
| （委員6） | それは現状として、食べられない子どもたちが多いのか？ |
| （事務局） | 都市部では多い。伊勢は子ども食堂という名の中でいくつかの社会福祉法人や個人がしているところもあるが、それが貧困の方を助ける子ども食堂なのか、実際はわからない。 |
| （委員5） | 配送や期限の問題もある。 |
| （事務局） | 本来だと、賞味期限が近くなったものを、子ども食堂を運営しているところが持ってきてください、それを使います、というのが主旨で、ラインができているが、今はラインができていない食堂である。 |
| （委員4） | 難しいです。こういう事業を誰が継続していくのか。簡単にやれるものではない。貧困の家庭を誰が割り出すのか？個人情報なのでできない。自治会さんなど小さい単位で週に1回でも大変。食生活改善協議会は当然こんな話は何度も頂いたが、簡単には言えない。 |
| （委員1） | 食品ロスはたくさんの意見をいただいているが、食品ロス検討会というのは下の組織として作っていただく必要があるのでは。 |
| （事務局） | 事業者の方の話を伺うと、消費者も過剰包装のこともあったが、そのような意識があるので、同じテーブルについてお互いを知った上でないとできない。情報、問題点を共有して同じ方向に向かっていく必要があるので、協力をお願いしたい。 |
| （委員7） | 行政の人間として悪いところは、啓発はするが実績は掴まない。結果として市民のみなさんにお知らせできない。清掃課は近年にない細かい事業をしているので、食品ロスや雑がみの効果など経費の効果を市民のみなさんにお知らせいただきたい。 |
| （委員1） | 成果の部分を是非市民の方に連絡すると、市民ももっと協力してプラスの循環になる。 |
| （委員5） | これから12月に向けて宴会などで食べ残しをしないために、自分達も一度試したことがあるが、食べる前に“分けてしまう方法”がある。手をつけず、（食事を）頂く前に自分達のものを、1つのテーブルのタッパーに全て置く。食べられる人はそこからバイキング形式で戴く。結構効果がある。庁内で呼びかけていただいて、庁内検証として部課長会議であげていただきたい。食事にかかる費用を抑えられたので。 |
| （委員6） | 会議所の視察で福井に行った際に、料亭でまず聞き取りをした。食べられないものはないか？など。お弁当の注文時に「米何グラム」などチョイスできたらよいのでは？会議所でもパックで持ち帰れるようにしようとしたが、卸しているところができないと。 |
| （委員8） | まちづくりの環境審議会で委員長をしているが、ごみの分別の話し合いもしている。昨年4月からキエーロをしており、1年半になるがとても良い。また、台風の後にごみが堤防などに溜まり、プラスチックが田んぼに来る。ごみが上がった時に早く手立てを打つのが良い。勢田川大そうじをしているが、台風後に掃除したほうが効果的。 |
| （○平成31年度施策について） |
| （事務局） | 平成31年度についても、重点施策について3点中心に継続する。（食品ロス削減に関する取り組み、雑がみチラシの全戸配布も検討、草・剪定枝の資源化など）。この他にも、生ごみの水切りネットのモニター、啓発キャラクターの利用、事業者向けの分別マニュアルなどを行っていきたい。 |
| （委員6） | 公園の草に関しては、除草剤を撒けない。草が生えてくるところから考えるほうが良いのでは。 |
| （事務局） | スクリーニングでグラウンド化しても、草は多少減る。 |
| （委員6） | 公園の草にしても土手の草にしても、毎年同じことをしていて、この話が出てくる。どうしたら生えないかを考える必要があるのでは？ |
| （事務局） | 草・剪定枝が市内だけで年間何100トンと出るが、その草が災害に起因するなどであれば、それは対応しなくてはいけないが、線引きは難しい。 |
| （委員3） | 草・剪定枝の資源化とは具体的にどういうこと？ |
| （事務局） | 今は焼却しているが、処分業の許可業者に肥料化・チップ化して資源化をはかる。 |
| （委員3） | それを市として取り組みたいと？ |
| （事務局） | 費用的に委託料、運搬料などをインフラ部門で予算化してもらわないといけない。 |
| （委員7） | 清掃工場は1ｔあたり13,000円かかる。13,000円でチップ化できるなら、その方が、価値がある。 |
| （委員4） | ごみ屋敷は伊勢市にもあるのか？ |
| （事務局） | 数は不明だが、サポートセンターあゆみさんで対応してもらっている。ごみ屋敷は2種類あり、ごみではないとの認識でごみを溜めてしまうか、高齢者等で出したいけど出せない、気がついたらごみ屋敷というパターン。後者はあゆみさんや自治会、清掃課も協力して取り組んでいる。 |
| （委員2） | 紙おむつの調査の件で、平成31年度の施策に反映する予定は？税金を使って視察に行くのであれば、きちんと成果を報告するべきである。 |